



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月31日

上場会社名 ノバシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5257 URL <https://www.nova-system.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳山 政安
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 加藤 博久 TEL 06 (6479) 8100
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,590	—	239	—	226	—	153	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	116.56	115.26
2022年12月期第2四半期	—	—

（注）2022年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,317	1,640	49.5
2022年12月期	2,786	1,163	41.7

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 1,640百万円 2022年12月期 1,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,290	14.3	423	28.3	413	22.6	266	25.4	195.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 業績予想の修正については、本日（2023年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	1,402,500株	2022年12月期	1,200,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	1,317,500株	2022年12月期2Q	1,200,000株

(注) 当社は、2022年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月22日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス対策の緩和による経済活動の正常化に伴い、景気は緩やかに回復している一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰や世界的な物価上昇、円安の進行等、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢の下、当社業界におきましては、設備投資の回復及び企業収益の改善等を受け、2022年度比で10.9%増（金融機関及び持株会社等を含む全産業、「第197回全国企業短期経済観測調査－2023年6月－」より）のソフトウェア投資額が見込まれており、不透明さが残る環境下でもIT投資は底堅く堅調に推移するものと期待されます。

システムインテグレーションにつきましては、プロジェクトの開始時期が下期へ変更となった案件が一部あったものの、新規受注、追加受注及び採用を含む要員の確保等が図られ、売上高は2,550,518千円となり、期初計画を上回り順調に推移いたしました。また、追加受注分につきましては既存要員での対応を進めるとともに、機動的に要員配置を行うこと等を通じて、売上総利益も期初計画を上回り順調に推移いたしました。

クラウドサービスにつきましては、売上高は39,968千円となり、期初計画を下回り推移いたしました。当期より営業支援企業を活用した営業活動を推進しており、更なる新規顧客の開拓及び販売代理店の拡大を図ってまいります。

販売費及び一般管理費は417,602千円となり、概ね期初計画通りに推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,590,487千円、営業利益は239,440千円、経常利益は226,687千円、四半期純利益は153,567千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における資産合計は3,317,678千円となり、前事業年度末に比べ530,718千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金296,538千円、売掛金及び契約資産53,690千円、淡路島保養所の建設に伴う有形固定資産153,209千円の増加によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,677,081千円となり、前事業年度末に比べ53,144千円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金143,759千円、長期借入金276,591千円の増加の一方、1年内償還予定の社債165,000千円、社債50,000千円等の減少によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,640,597千円となり、前事業年度末に比べ477,574千円増加いたしました。これは主に、資本金及び資本準備金がそれぞれ158,355千円増加したことによるもの及び利益剰余金153,567千円等の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ238,136千円増加し、621,387千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は28,234千円となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益の計上226,687千円が収入となり、売上債権の増加額53,690千円、未払消費税等の減少額75,220千円、預り金の減少額23,783千円、法人税等の支払額101,006千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は255,698千円となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出58,401千円、有形固定資産の取得による支出185,269千円、敷金及び保証金の差入による支出17,264千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は522,060千円となりました。その要因は、長期借入れによる収入600,000千円、長期借入金の返済による支出179,650千円、社債の償還による支出215,000千円、株式の発行による収入316,710千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、本日（2023年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、売上高につきましては、下期へと変更となったプロジェクトの開始、上期において採用を含む要員の確保が図られたこと等を受け、システムインテグレーションを中心に堅調な推移を見込んでおり、5,290百万円（前期比114.3%）を見込んでおります。営業利益につきましては、423百万円（前期比128.3%）を見込み、前回発表予想に対して軽微な修正を行っております。これは主に、売上高の増加に伴う売上総利益の増加はあるものの、採用活動の強化による求人費、福利厚生施設の整備費用、広島オフィスの開設費用、クラウドサービス拡販のための営業活動費用等の増加により、販売費及び一般管理費856百万円（前期比122.8%、対期初計画＋約37百万円）を見込むことによるものであります。

また、経常利益及び当期純利益につきましても軽微な修正を行っております。

詳細につきましては、本日（2023年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	633,554	930,092
売掛金及び契約資産	782,733	836,424
貯蔵品	38,918	42,092
その他	32,658	32,624
貸倒引当金	△78	△78
流動資産合計	1,487,786	1,841,155
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	284,278	597,222
構築物（純額）	1,378	135,696
機械及び装置（純額）	4,369	3,744
車両運搬具（純額）	241	120
工具、器具及び備品（純額）	22,235	47,635
土地	191,817	231,982
建設仮勘定	358,872	—
有形固定資産合計	863,192	1,016,402
無形固定資産		
ソフトウェア	16,462	14,284
その他	2,755	3,898
無形固定資産合計	19,218	18,182
投資その他の資産		
投資有価証券	330,293	342,820
その他	86,468	99,117
投資その他の資産合計	416,761	441,938
固定資産合計	1,299,173	1,476,523
資産合計	2,786,959	3,317,678

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,475	126,111
1年内償還予定の社債	265,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	200,292	344,051
未払法人税等	117,347	91,352
受注損失引当金	325	15,323
その他	358,855	207,766
流動負債合計	1,059,296	884,603
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	387,359	663,950
資産除去債務	26,522	26,565
その他	100,759	101,962
固定負債合計	564,641	792,477
負債合計	1,623,937	1,677,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,750	298,105
資本剰余金	127,750	286,105
利益剰余金	702,498	856,065
株主資本合計	969,998	1,440,275
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	193,023	200,321
評価・換算差額等合計	193,023	200,321
純資産合計	1,163,022	1,640,597
負債純資産合計	2,786,959	3,317,678

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,590,487
売上原価	1,933,444
売上総利益	657,043
販売費及び一般管理費	417,602
営業利益	239,440
営業外収益	
受取配当金	3,416
受取家賃	4,630
その他	1,539
営業外収益合計	9,586
営業外費用	
支払利息	3,090
上場関連費用	18,774
その他	474
営業外費用合計	22,340
経常利益	226,687
税引前四半期純利益	226,687
法人税、住民税及び事業税	75,110
法人税等調整額	△1,989
法人税等合計	73,120
四半期純利益	153,567

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	226,687
減価償却費	24,279
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	14,997
受取利息及び受取配当金	△3,420
支払利息	3,481
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,690
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,173
未収入金の増減額 (△は増加)	146
前払費用の増減額 (△は増加)	4,295
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,635
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75,220
未払金の増減額 (△は減少)	△18,813
未払費用の増減額 (△は減少)	△21,140
預り金の増減額 (△は減少)	△23,783
その他	△9,843
小計	73,436
利息及び配当金の受取額	3,420
利息の支払額	△4,086
法人税等の支払額	△101,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△58,401
投資有価証券の取得による支出	△2,009
有形固定資産の取得による支出	△185,269
無形固定資産の取得による支出	△3,084
敷金及び保証金の差入による支出	△17,264
その他	10,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△179,650
社債の償還による支出	△215,000
株式の発行による収入	316,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	522,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	238,136
現金及び現金同等物の期首残高	383,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	621,387

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年3月30日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。この上場にあたり、2023年3月29日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式150,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ117,300千円増加しております。

また、2023年5月1日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式52,500株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ41,055千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が298,105千円、資本準備金が286,105千円となっております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

当社は、ソフトウェア開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。